わたしたちサークル仲間

清水川体育部

矢立地区は、市民運動会の「むかで競走」で第一回大会を除き、すべて優勝しています。その原動力となったのが清水川体育部の面々です。

清水川町内は、地区内で一番戸数の少ない集落ですが、チームワークではどこにも負けない町内で、矢立地区のスポーツ大会では常に上位入賞をしています。

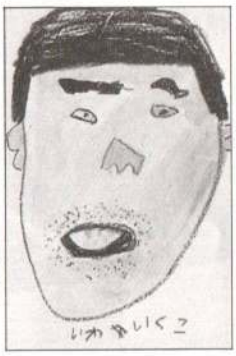
この体育部は十年ぐらい前に若い人たちが集まって作られたもので、現在は八組の夫婦を中心に、スポーツ活動や子供会育成活動など、町内行事の中心となっています。「むかで」もこの会の結成と同時に練習が開始され、花矢地区の運動会前になると、町内の道路を利用して練習が続けられるそうです。

部長の佐々木教之さんは「むかでは、私たちの父のころから強かったんですよ。私たちは、この歴史を守るためがんばっているだけです。それでもひもの長さの調整や、みんなの手の位置など工夫しています。男子は高齢化して体力が落ちてきているのですが、女子は、子育てが終ったためか、元気になって男子をリードしています」と笑いながら話していました。

チビッコギャラリー

おとうさん　白沢幼稚園

わかまつたかのりくん
ダンプカーを運転しているところがかっこいいよ。



いわやいくこちゃん
おとうさんの顔はやさしいよ。

さとうしんぺいくん
野球がうまいんだ。

ミニガイド

天然記念物
長走「風穴」高山植物群落

長走風穴高山植物群落は、陣場駅南2㌔の国道7号線沿の国見山(海抜453㍍)の西側斜面にあります。この風穴地帯は、石英粗面岩が堆積し、内部に無数の隙間があり、山頂は所々に崩壊岩が露出し、ここから岩の隙間を空気の対流作用により、次第に冷却沈下し下の風穴から冷風となって吐き出されると考えられます。風穴付近の温度は盛夏でも摂氏10度前後で、海抜1000㍍以上でなければ見ることのできない高山植物が群落をなしています。

大正15年に完成した中渡橋

白沢地区を流れる下内川には、現在、中渡橋と上渡橋がありますが。今では永久橋となっていましたが、大正十五年十二月九日現在の中渡橋より約三十㍍上流に木造の橋が架けられました。

下の写真は、この橋の完成を祝い渡り初めをしている方々で、先頭から若松貞吉村長、成田捨五郎氏、遠藤久三氏、安部惣助氏、若松信蔵氏、伊藤建雄氏、伊藤長一氏、岩船信郎氏、若松鍋助氏などのほか多くの村民です。

この橋は洪水により流され永久橋に架け変えられましたが、当時としては技術的にも最高級の橋でした。この橋の完成により、地域住民の交通の要所として利用されました。なお、当時は下内川に下渡橋(現在はない)があり三橋とも交通の要所となっていました。

◇次回は「十二所地区」をお送りします。